



編集・発行

国立大学法人鹿児島大学男女共同参画推進室 〒890-8580 鹿児島市郡元1-21-24  
TEL 099-285-3012 E-mail : gender@kuas.kagoshima-u.ac.jp http://atsuhime.kuas.kagoshima-u.ac.jp/

## ■平成23年度科学技術人材育成費補助事業 「女性研究者研究活動支援事業」に採択

平成23年度科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業」に鹿児島大学の事業計画が採択されました。(申請18機関中10機関採択)

本事業は、女性研究者がその能力を最大限発揮できるよう、出産・子育て等のライフイベントと研究を両立するための環境整備を行う取組を支援するもので、事業期間は、平成23年度～25年度(補助金予定総額:36,500千円)です。

主な取組概要は以下のとおりです。

- ・女性研究者支援センター(仮称)の設置
- ・コーディネータ(特任専門員)の配置
- ・研究支援員制度の拡充
- ・メンター制度の構築
- ・「museカフェ」(研究者間交流会等)の開催
- ・「男女共同参画推進トップセミナー」の開催
- ・「女性研究者キャリア形成セミナー」の開催
- ・「女性研究者支援シンポジウム(仮称)」の開催
- ・ロールモデル誌の作成

〈2面に詳細〉

## ■研究支援員制度スタート 育児・介護期にある女性研究者等の研究活動を支援

雇用された研究支援員(大学院生)は、データの統計処理・解析、実験補助や文献調査等の研究活動支援業務を行い、女性研究者の研究活動の進展に寄与することになっています。また、本制度では、女性研究者がロールモデルとしての役割を果たすことによって、研究支援員となる大学院生自身のキャリア形成にもつなげることを狙っています。

第1期(7月～9月)に利用した研究者からは、「データ解析等の作業が予定より早かったため、予定していなかった学会発表ができた」などといった声が聞かれました。

また、「女性研究者研究活動支援事業」採択を受け、第2期第2次募集から、支援対象が育児・介護期等にある研究員や配偶者に研究者を持つ男性研究者に拡大されました。

### 支援状況

【第1期】 計 8人 (人社系2、保健系5、理工系1)

【第2期】 計12人 (人社系2、保健系6、理工系4)

\*第2期は男性研究者2名を含む。

## ■「男女共同参画キャラバン」をスタート 部局長と男女共同参画の推進に関して意見交換

男女共同参画推進室では、本学の「男女共同参画推進に係る長期(10年)及び短期(3年)行動計画」を計画的に遂行していく上で、特に女性研究者の積極的な採用・登用及びキャリア形成支援等を推進するため、河原尚武理事・男女共同参画推進室長、田島真理子 男女共同参画担当学長補佐、後藤博明 総務部長と各部局長等との意見交換会「男女共同参画キャラバン」を行うこととなり、さっそく理工学研究科、農学部、水産学部、医歯学総合研究科・医学部を訪問しました。

公募における女性研究者の応募状況、博士後期課程の女子学生の進路状況や女性研究者比率向上に係る部局独自の取組など、学部の現状を把握するとともに、女性研究者増に向けた課題等について意見交換。各教員選考委員会に副学部長を委員とすること(工学部)など、学部独自の女性研究者増に向けた取組が進みつつある一方で、全学的な「ポジティブ・アクション(女性研究者採用に係る積極的取組)」の導入等の要望が出されました。

男女共同参画推進室では、部局における女性研究者比率増に向けた目標設定や男女共同参画推進体制の整備充実などを図っていくため、今後継続して「男女共同参画キャラバン」を行っていく予定です。



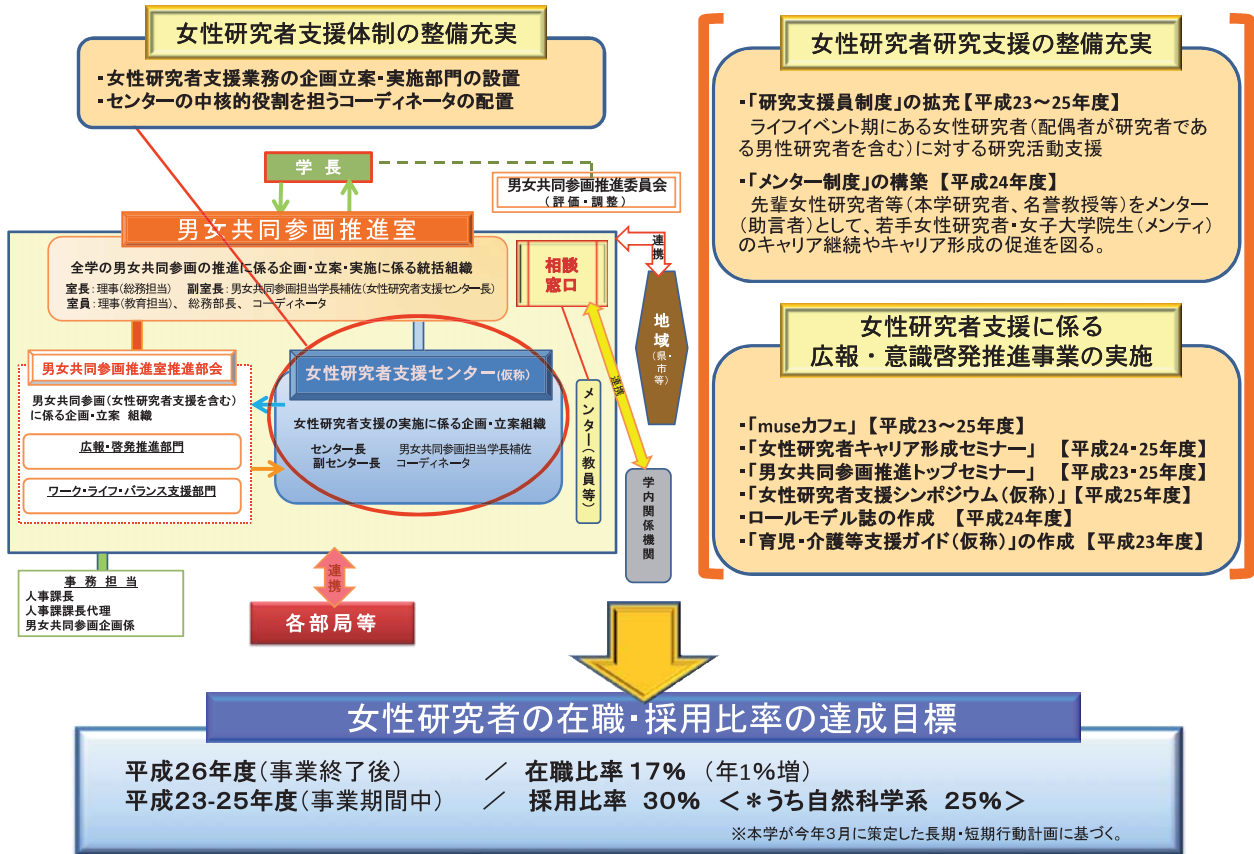
理工学研究科(理学系)との意見交換の様子

# 科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業」に採択(取組概要紹介)

今回採択になりました科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業」は、「鹿児島大学男女共同参画推進に係る長期(10年)及び短期(3年)行動計画」(平成23年3月 第109回教育研究評議会承認)【別刷参照】を着実に実行していくための「起爆剤」です。

本事業を通じて、全学を挙げて女性研究者のキャリア継続及び形成支援や、次世代女性研究者の裾野拡大の取組の推進などの更なる推進を図っていくこととなります。とりわけ、女性研究者の在職比率や上位職女性研究者の増加などの目標達成に向けては、今後ポジティブ・アクション(女性研究者の積極的採用に係る取組)などをいかに推進するかという課題もあります。

皆さまのご理解とご協力のほどよろしく申し上げます。



## ■オープンキャンパス企画 「郷中Café『夢・未来』」を開催 ～約110名の高校生が来場～

8月6日、女子大学院生と女子高校生が交流する「郷中Café『夢・未来』」を開催し、約120人の高校生等が来場しました。16人の大学院生が、女子高校生に各自作成したポスター等を使って研究内容を説明したり、学生生活の紹介や進路相談に応じていました。

高校生から「ポスター等により様々な分野の研究の説明がわかりやすかった」、「様々な学部・大学院の概要等の情報が得られた」「進路に関する貴重な助言をもらえた」といった感想が聞かれたほか、大学院生からも「他研究科の学生との交流で今後の研究に刺激になった」などといった声がありました。



## ■「museカフェ」を開催 理工・農・水産分野の女性研究者が ランチミーティング

10月19日、理・工・農・水産学分野の女性研究者と男女共同参画推進室推進部会委員など17人が参加して、「museカフェ」を開催しました。各研究者の自己紹介に続き、女性研究者の裾野拡大に向けた大学院生・研究員のキャリアパス支援や、ライフイベント期にある女性研究者研究活動の支援充実の必要性など、女性研究者を増やす方策を巡って、終始くつろいだ雰囲気の中での懇談となりました。



# 鹿大の女性研究者に Close up!

鹿児島大学で研究している女性研究者  
を紹介していきます。



袁 春紅 准教授(鹿児島大学水産学部)

## Profile

2002年10月—北海道大学大学院水産科学研究科留学  
2006年3月—博士(水産科学)取得  
2006年4月—北海道大学大学院水産科学研究院助手  
2007年4月—北海道大学大学院水産科学研究院助教  
2011年4月—鹿児島大学水産学部准教授

### ○現在の研究活動

水産物の超高鮮度凍結処理・高度加工による高価値化技術開発に関する基礎研究を行っています。具体的には、魚の筋肉の時間経過や保存温度など様々な条件設定による生化学的変化を測定しています。水産物の長時間の鮮度保持が可能になれば、多くの離島を有する水産業の盛んな鹿児島県の地域経済の活性化に大きく寄与することになります。その一環として現在、シビ(マグロ)、トビウオ等の魚の鮮度保持に関する与論町と水産学部との共同研究プロジェクトに携わっています。

### ○研究者を目指すきっかけ

上海海洋大学の修士課程在籍中に、日本の農林水産省と中国農業部との連携プロジェクト研究に携わりました。水産研究で先行する日本の研究者との交流を通して、自分の研究を更に追究したいとの気持ちが強くなり、北海道大学へ留学することになりました。

### ○研究の魅力・やりがい

超高鮮度保持技術開発に向けた研究によって、水産物の付加価値が高まり、地域経済の活性化や国際的な食糧需給確保への貢献につながるので、非常にやりがいのある研究です。

### ○研究と生活の両立

現在4歳と2歳の子どもと暮らしています。大学教員の夫は、上海にいますので、18時の幼稚園と保育園の迎えが日課です。実験を伴う研究が主のため、一旦中断し、家事を済ませてから、夜研究室に来ることもしばしばです。出張時には民間の保育サービスも利用するなどして、研究との両立を図っています。

### ○研究支援員制度を利用されての感想

現在、大学院生の緒方さんに、カンパチ筋肉の筋原線維の調製、タンパク質の性状変化の確認や研究データの統計処理・解析に従事してもらっています。4月に赴任し、慣れない環境での研究でしたが、研究支援員制度を利用できたこともあり、予定より早く研究が進展し、9月の日本水産学会でカンパチ筋肉ミオシン(タンパク質の一種)の熱安定性に関して発表することができました。

### ○これから研究者を目指そうとする女性へのメッセージ

性別に関わりなく研究者を目指す人は、自分のやりたい研究に信念を持って、どんな困難にぶつかってもあきらめずに自分のペースで追究する姿勢が必要だと思います。特に女性の場合は、結婚・出産・育児とライフイベントにより大きく影響される時期がありますが、自分が研究を続けることの意味を常に再確認していくことでキャリアを形成して欲しいと思います。



カンパチ筋肉タンパク質組成の分析の様子

## ■中・高校生向けに出前授業で キャリアプランニング支援講座を実施

男女共同参画推進室は、ライフプランニング支援の一環として、「自分のライフプランニングをしよう～仕事も生活も充実した人生を送るために～」と題して5月14日、鹿児島市立玉龍中高一貫教育校において、出前授業を実施しました。

講師の田島真理子 学長補佐は、男女共同参画の意義や、海外との比較を交えながら日本の男女共同参画に係る現状や推進の必要性について説明。さらに少子高齢化、経済社会のグローバル化の進展等の中での「多様性」の重要性を強調した上で、「男女ともに個性や能力を發揮できる社会の担い手になってください」とエールを送りました。



## ■医学部保健学科学生サークルが 若者のためのデートDV相談活動

医学部保健学科ボランティアサークル「ピア☆びあ☆かごしま」(部員27人)は、デートDV(結婚前の若者におこる交際相手からの暴力)未然防止活動として、毎月第3土曜日午後2～4時、かごしま県民交流センター1階で「びあ・すてーしょん」(鹿児島県男女共同参画センター共催)を開催しています。デートDVは、近年社会的関心が急速に高まっていますが、DVと気づかずに相手を力で支配する、「愛されているから」と被害を自覚しない、誰にも相談できないなど、潜在化しているケースが多いと考えられます。ピア(仲間)活動を通して、若者の恋愛や性における対等な関係性の大切さについて学び、相談にのることでデートDVの予防や被害を最小限にすることにつながっています。



## 「ベビーシッター費用割引券発行事業」スタート

男女共同参画推進室では、保育支援の一環として、教職員が就労のためにベビーシッターによる在宅保育を利用する際に、料金の一部を助成する(財)こども未来財団ベビーシッター育児支援事業制度を活用して、仕事と子育ての両立を支援する「ベビーシッター費用割引券発行事業」を開始することとなりました。詳細は、男女共同参画推進室HPをご覧ください。

また、「大学入試センター試験時等学内一時託児サービス(仮称)」も試行に向けて検討中です。



## 「museカフェ」のご案内

女性研究者や女子大学院生等の交流会「museカフェ」は、様々な部局の研究者(男性研究者を含む)や大学院生等の交流を通して、ロールモデル情報の提供や教育研究に関する情報交換の機会とすることにより、女性研究者等のキャリア形成支援等につなげることを目指しています。また女性研究者支援のネットワークの裾野拡大を図ります。

次回(予定):平成23年12月16日(金)  
対象:桜ヶ丘地区女性研究者(医・歯・保健分野)等



## Q-wea情報(Q-wea:九州・沖縄アイランド女性研究者支援ネットワーク)

### ●第3回九州・沖縄女性研究者支援シンポジウム in 長崎 開催

9月3日、第3回九州・沖縄女性研究者支援シンポジウムが長崎大学医学部長順会館で開催されました。

シンポジウムでは、文部科学省生涯学習政策局の笹井弘之 男女共同参画学習課長による基調講演に続き、大竹文雄 大阪大学社会経済研究所教授からの「男女間格差をめぐる経済学」と題して特別講演がありました。

続いて九州・沖縄の8大学の理事・副学長によるパネルディスカッションが行われ、各大学の女性研究者等支援に係る取組状況の報告に続いて、女性研究者の増加に向けた全学的な女性研究者支援に対する意識改革や、ポジティブ・アクションの成功事例の情報共有の必要性等を巡って活発な議論が展開されました。



各大学の取組紹介コーナー

### ●「Q-wea's Paper」創刊 ～九州・沖縄地区8国立大学の取組を紹介～

Q-weaの広報紙がこのほど創刊されました。今後年2回程度の発行を予定しております。

Q-weaの活動や、他大学の女性研究者支援活動などの取組を紹介しておりますのでご覧ください。



以下のサイトからご覧になれます。  
[http://sofre.kyushu-u.ac.jp/qwea/paper\\_vol01.pdf](http://sofre.kyushu-u.ac.jp/qwea/paper_vol01.pdf)

## 編集後記

Newsletter創刊号発行から、半年余りが過ぎました。この間、女性研究者の研究活動を支援する「研究支援員制度」も始まり、実質的な支援策や環境整備に着手しつつあります。このような中で、このたびの文部科学省の女性研究者研究活動支援事業の採択は、これまでの取組の成果が結実したものとと言えます。今後、更なる男女共同参画の推進に向けた取組が求められますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。なお、本号から連載コラムで本学の女性研究者を紹介して参ります。様々な分野で活躍する女性研究者の「今」にご注目ください。

(広報・啓発推進部門長 中村)

## More Information

### ●男女共同参画推進室ホームページのご案内

男女共同参画推進室では、男女共同参画に関する情報や様々な活動報告のほか、保育施設や各種制度等の紹介などをホームページで行っています。

<http://atsuhime.kuas.kagoshima-u.ac.jp>

### ●メンター制度を創設します

女性研究者のキャリアパスの推進を図るため、メンター制度をスタートします。メンターとしてご協力いただける方は男女共同参画推進室までご連絡ください。

### ●「育児・介護等支援ガイド(仮称)」作成のご案内

教職員の皆さまの育児・介護等と仕事との両立支援の促進を図るため、利用可能な各種制度や保育所の概要をまとめたガイドを今年度中に作成する予定です。

# 男女共同参画推進に係る長期・短期行動計画を策定

～平成32年度までのロードマップを明示～

男女共同参画推進室は、鹿児島大学における男女共同参画推進を計画的に図っていくため、平成23年3月に「男女共同参画推進に係る長期(10年)及び短期(3年)行動計画」を策定しました。これは、昨年度実施した「男女共同参画推進に関する意識調査」等の結果を踏まえたものです。

今後これに沿って、鹿児島大学の男女共同参画の推進に向けて、さまざまな取組を具体化していくこととしています。

○：長期行動計画      ○：短期行動計画

